

はなみずき

VOL
39

平成31年 新春特大号

新年あけましておめでとうございます



迎
春

～創立100年目の年を迎えて～

あけましておめでとうございます。

今年の4月で平成の年号が終わります。新たな年号は、この原稿を書いている時点で未発表ですけれど、アルファベットのM,T,S,H以外にすると聞きます。はなみずきの新年号が発刊される頃には、発表されているのでしょうか。はたして？

年号の変更は多方面に負担がかかる一大事であるものの、節目として感慨深いものがあります。昭和の時代は、敗戦のどん底から戦後の現代日本の創成期であり、そして成熟期であったと申せましょう。そして平成は、まさに絶頂からの転換期、新たな日本へ脱皮すべき機軸が期待されながらも、既得権や従前の価値観に縛られて、やり切れなかったように映ります。新たな年号の時代が、私たち日本人にとって良い節目となることを願います。

西暦2019年の本年、右田病院は11月で100周年を迎えます。和暦で大正8年が創業ですので、関東大震災、世界大恐慌から太平洋戦争を経て、戦後の高度成長、バブル経済の崩壊、平成の大規模震災の数々、そして高齢社会へ至る時代を見てきたことになります。沿革は、年内に記念誌として発刊する予定ですので、そちらに譲りますが、創業者の右田興根昇は、多くの方々のご厚意を受け、そして自身も多くの後人を育てました。昭和31年に急逝した後も、その方々が

右田病院を育て支えてくださったからこそ、の今日と存じます。そして、近年においては医療制度の改定などで、病院の運営を搖るがす経験を重ねながら、100年の歳月を経ることが出来たのは、職員の努力研鑽協力と、地域の皆様のご支援の賜物と存じます。

右田病院は、平成24年に本町から暁町に新築移転しました。地域に求められる医療の姿が変容し、医療制度も大きく変革する下で、建物が新しくなるだけではなく、当院の役割も変わりつつあります。本町の右田健診クリニックも多くの受診者をお迎えし手狭になってまいりました。時代の変化に対応するためには、どちらの事業所も様相を変えていく必要があります。

しかし、志は変わることなく、理念を「地域のホームホスピタル」として、地域のお役に立てるよう尽力してまいります。次の100年に向けての構想を持ち、地域の皆様のご要望にお応えできるよう、職員一同邁進する所存です。

末尾ながら、この新たな一年の皆様のご多幸をお祈り申し上げます。



医療法人財団 興和会
理事長 右田 敦之

薬のおはなし

インフルエンザのお薬について

インフルエンザの流行時期になりました。ワクチンの接種やうがい・手洗い等でインフルエンザにならないように予防をされているでしょうか。

今回はインフルエンザのお薬の中の抗ウイルス薬について紹介します。

抗ウイルス薬はインフルエンザウイルスが体の中に入ってから増殖するのを抑えます。

現在、飲み薬・吸入薬・注射剤など様々な形態のお薬が使用されています。

いずれのお薬においても十分な効果を期待するには48時間以内に使用することが大切です。
おかしいな?と感じたら早めに受診をしましょう。

ご不明な点等ありましたらいつでもお声をかけて下さい。



薬剤師
田中 登紀子



抗インフルエンザ薬の種類



タミフル (カプセル/ドライシロップ)

2001年2月販売。
1日2回5日間服用します。



オセルタミビル「サワイ」 (カプセル/ドライシロップ)

2018年9月販売。
タミフルの後発品です。
1日2回5日間服用します。



ゾフルーザ(錠)

2018年3月発売。
新しい作用機序の抗インフルエンザ剤です。
1回服用終了です。



リレンザ(吸入)

世界で始めて販売された抗インフルエンザ薬です。
日本では2000年12月販売。
1日2回5日間吸入します。



イナビル(吸入)

2010年10月販売。
1回吸入で終了です。



ラピアクタ(注射)

2010年1月販売。
1回点滴をして終了ですが、
症状により連日使用することもあります。

右田病院
上大和田町会

共催の

健 康 教 室

を開催しました

右田病院では、当院の理念である『地域のホームホスピタル』としての活動の一環として、地域の方々を対象とした健康教室を開催しております。昨年11月は上大和田町会会館にお邪魔して、上大和田町会の皆様とは6回目の共催となる健康教室を開催し、約20名の方が参加されました。今回は、低栄養とロコモティブシンドromeの予防をテーマに、当院の管理栄養士による講演と健康運動指導士による予防運動を体験していただきました。日頃から栄養に気を配り運動習慣のある方も、まったく気にしていない方もいらっしゃいましたが、日々のご自身の食事内容についてや、TVの健康番組を見て疑問に思っていたことなどを、皆様熱心に質問されていました。普段からの栄養状態や筋力の違いは、いざ病気やケガにより入院生活を余儀なくされて、低下してしまった体力の回復にも影響してきます。今後も、地域の皆様の健康づくりのお役に立てるテーマで、健康教室を企画していきたいと思います。



診療支援部長
福井 幸雄



輸血は どのような時に必要になるの？



検査のお話

病気や薬の影響などで十分に血液をつくることができなくなったり、事故や手術で大量出血すると、**血液中の成分**が減少し生命が危くなることがあります。輸血は減少した**血液中の成分**が回復するまでの間を一時的に補う目的で行われる補充療法です。

血液中の成分とは、①赤血球②血小板③血漿(凝固因子など)があります。

① 赤 血 球

赤血球は呼吸することで肺に取り込まれた酸素を全身の細胞に運搬する役割があります。

② 血 小 板

血小板は出血の際に血管の傷をふさぐ役割があります。

③ 血漿(凝固因子など)

血漿には各種の凝固因子が含まれ、血小板と協働して出血を止める役割があります。

輸血には、献血由来の血液製剤を用いる「**同種血輸血(日本赤十字社血液製剤)**」と、予定された手術前に自分自身の血液を保存して用いる「**自己血輸血**」があります。

輸血をする患者様に対して、臨床検査技師が血液型検査・不規則抗体検査・交差適合試験などを実施し、**輸血の安全性を確認**しています。

また、輸血をする前には**インフォームドコンセント**を行い、輸血の必要性とメリット・デメリットを十分に説明し、同意が得られた場合のみに実施されます。

**輸血療法については
主治医にご相談ください**

臨床検査技師
安藤 美穂子



栄養士の
ひとりごと

冬野菜を食べて ウイルスから体を守ろう!!

みなさんこんにちは。

寒い日が続いているですが、体調を壊していませんか？この時期になると怖いのがインフルエンザ等の**ウイルス感染**。そこで今回は冬野菜を食べてウイルスから体を守ろう！！と題して**冬野菜の効果**について書いてみたいと思います。

冬は空気が乾燥し、ウイルスの体内への侵入を防止する役割である皮膚や粘膜も乾燥してダメージを受けやすくなります。そんな**皮膚や粘膜をダメージから守って**

くれるのが**冬野菜**なのです。さらに**冬野菜**の栄養素には**免疫力を高めてくれる**効果があり風邪の予防に役立ちます。また、胃腸の働きを正常に整えてくれる消化酵素に内臓から**免疫機能増強をサポート**してくれますし、鉄分の吸収を促進して毛細血管の機能を保つことで血行が良くなり**体を温めてくれる効果**があります。冬野菜は寒い季節の健康づくりを支えてくれる食材です。

管理栄養士 橋本 理絵

<白菜>

白菜はカリウムを豊富に含んでいるので、**血圧の安定**に役立ちます。白菜のカリウムは特に芯に近い葉に多いとされています。**カロリーが低く**どんな味付けにもなじむ食材です。

<大根>

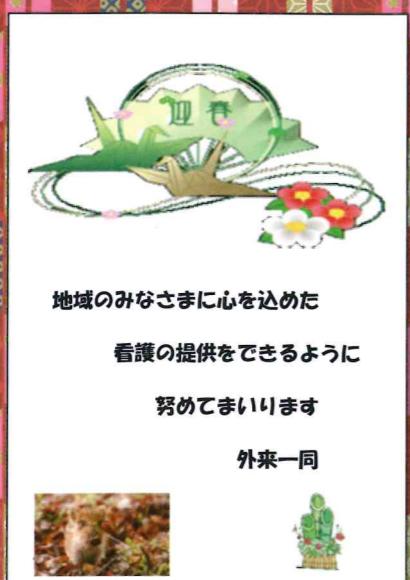
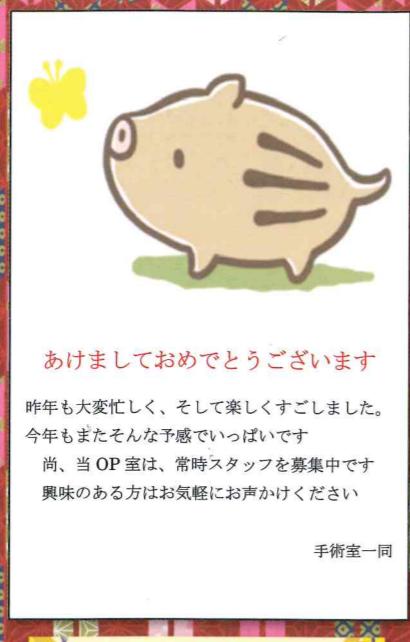
年末年始のご馳走で胃がもたれぎみの時には**消化を助ける**シアスターーゼやアミラーゼと呼ばれる消化酵素が多く含まれる大根がおすすめ。加熱すると効果が下がってしまうので生で薄切りにしたり大根おろしにして食べましょう！

<人参>

緑黄色野菜の代表的な野菜です。カロテンがとても豊富です。カロテンは強力な**抗酸化作用**をもっており、人体の粘膜や皮膚、免疫機能を正常に保ったり、視力の維持に役立ちます。

<ほうれん草>

ほうれん草のビタミンCは鉄分の吸収を助けるので、両方が豊富に含まれるほうれん草は鉄分の補給に持ってこいの食材です！また、ほうれん草に含まれるカロテンは粘膜を丈夫にし、**ウイルスの侵入をブロック**してくれます。



右田病院第1回大規模災害訓練のお知らせ

(「緊急医療救護所」設置・運営・トリアージ訓練)

大規模地震の災害が発生した場面を想定して右田病院駐車場で緊急医療救護所の設置・運営の訓練を実施することとなりました。

また実際に患者様役をたててトリアージ訓練も行います。下記にその内容についてお伝えしますのでご参加をお願いします。

記

開催日時 平成31年3月23日(土)14:00~16:00まで

会場 右田病院 駐車場

訓練内容

- ・緊急医療救護所の設置(テント設営、机・椅子等の搬入等)
- ・緊急医療救護所の運営(グループ分け、指示系統の徹底等)
- ・トリアージ訓練(傷病者の重症度や緊急度により治療の優先度を判断すること)

※実際に患者様役をたてて行います。

参加者募集

- ・訓練に参加していただけるボランティアスタッフを募集いたします。

※詳細は後日ご連絡申し上げます。

問い合わせ先 運営管理担当 飯塚まで



「緊急医療救護所とは」

大規模地震等の災害が発生した時に、医療機関等の敷地内や近くに設置し、そこに駆けつけた傷病者等をいったんそこでストップし、傷病者を重傷者や中等症者、軽症者にトリアージし、軽症者はそこで治療し、重症・中等症者の本当に早急な治療を必要としている方を優先して病院に搬送し処置をするための救護所です。

「緊急医療救護所設置機関名」

市内には15か所の緊急医療救護所が設置されることとなっております。

・右田病院(暁町)・東京医科大学八王子医療センター(館町)・東海大学八王子病院(石川町)・仁和会総合病院(明神町)・清智会記念病院(子安町)・八王子山王病院(中野山王)・北原国際病院(大和町)・南多摩病院(散田町)・野猿脳神経外科病院(下柚木)・永生病院(鶴田町)・高月整形外科病院(高月町)・陵北病院(西寺方町)・みなみ野循環器病院(兵衛)・東京天使病院(上高分町)・救急救命東京研修所(南大沢)

「震災時の傷病者への対応は」

まず、応急処置をした後、医師の診察が必要なら近隣の緊急医療救護所へ!

今後、この「はなみずき」で災害に対する考え方、対応について説明して行きたいと思います。

医療法人財団興和会 右田病院 事務長 小澤 昌樹

医療法人財団興和会 右田病院

住所:〒192-0043 東京都八王子市暁町1-48-18
TEL:042-622-5155(代表)

理事長 右田 敦之 院長 右田 隆之

従業員数 140名 開設 昭和8年11月

標榜科目

- ・消化器外科・整形外科・呼吸器外科・乳腺外科
- ・形成外科・肛門外科・一般外科・消化器内科
- ・循環器内科・呼吸器内科・一般内科・泌尿器科
- ・皮膚科・麻酔科・リハビリテーション科・救急科

病床数

- 地域包括ケア病棟 82床

東京都指定二次救急医療機関/在宅療養支援病院
日本外科学会認定専門医制度関連施設
日本整形外科学会専門医師研修施設
マンモグラフィ精度管理中央委員会認定施設
日本静脈経腸栄養学会NST稼働認定施設
日本栄養療法推進協議会NST稼働認定施設

アクセス

- 京王八王子駅下車徒歩17分
- JR八王子駅下車徒歩22分
- JR八王子駅・京王八王子駅より
「宇津木台行」「ひよどり山トンネル経由創価大学行」
「ひよどり山トンネル経由富士美術館行」「ひよどり山トンネル経由戸吹行」
上記各バス「八王子郵便局」バス停下車徒歩4分



<http://www.migitahosp.or.jp/>



<http://www.migitaclin.com>